



はじめに

ここでは、『Cisco NX-OS Security コマンド リファレンス Release 4.0』の対象読者、構成、および表記法について説明します。また、関連資料の入手方法についても説明します。

この章は、次の内容で構成されています。

- [対象読者 \(p.xv\)](#)
- [マニュアルの構成 \(p.xvi\)](#)
- [表記法 \(p.xvii\)](#)
- [関連資料 \(p.xviii\)](#)
- [マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン \(p.xix\)](#)

対象読者

このマニュアルは、NX-OS デバイスを設定および管理する経験豊富な管理者の方を対象としています。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次の章で構成されています。

タイトル	説明
新規および変更された情報	新しい Cisco NX-OS ソフトウェア リリースの新規および変更された情報について説明します。
A コマンド	A で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
C コマンド	B で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
D コマンド	D で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
E コマンド	E で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
F コマンド	F で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
G コマンド	G で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
H コマンド	H で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
I コマンド	I で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
K コマンド	K で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
L コマンド	L で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
M コマンド	M で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
N コマンド	N で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
O コマンド	O で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
P コマンド	P で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
R コマンド	R で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
S コマンド	S で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します (show コマンドは除きます)。
show コマンド	Cisco NX-OS Security の show コマンドについて説明します。
T コマンド	T で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
U コマンド	U で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。
V コマンド	V で始まる Cisco NX-OS Security コマンドについて説明します。

表記法

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

表記	説明
太字	コマンドおよびキーワードは 太字 で示しています。
斜体	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
[x y z]	どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen フォント	スイッチが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、 太字の screen フォントで示しています。
斜体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、 <i>斜体の screen</i> フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、かぎカッコ (<>) で囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」を意味します。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。

関連資料

Cisco NX-OS のマニュアルは、次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9372/tsd_products_support_series_home.html

Cisco NX-OS のマニュアルセットは、次のマニュアルで構成されています。

リリースノート

『Cisco NX-OS Release Notes Release 4.0』

NX-OS コンフィギュレーションガイド

『Cisco NX-OS Getting Started with Virtual Device Contexts Release 4.0』

『Cisco NX-OS Fundamentals Configuration Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS Interfaces Configuration Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS Layer 2 Switching Configuration Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS Quality of Service Configuration Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS Unicast Routing Configuration Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS Multicast Routing Configuration Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS Security Configuration Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS Virtual Device Context Configuration Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS Software Upgrade Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS Licensing Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS High Availability and Redundancy Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS System Management Configuration Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS XML Management Interface User Guide Release 4.0』

『Cisco NX-OS System Messages Reference』

『Cisco NX-OS MIB Quick Reference』

NX-OS コマンド リファレンス

『Cisco NX-OS Command Reference Master Index Release 4.0』

『Cisco NX-OS Fundamentals Command Reference Release 4.0』

『Cisco NX-OS Interfaces Command Reference Release 4.0』

『Cisco NX-OS Layer 2 Switching Command Reference Release 4.0』

『Cisco NX-OS Quality of Service Command Reference Release 4.0』

『Cisco NX-OS Unicast Routing Command Reference Release 4.0』

『Cisco NX-OS Multicast Routing Command Reference Release 4.0』

『Cisco NX-OS Security Command Reference Release 4.0』

『Cisco NX-OS Virtual Device Context Command Reference Release 4.0』

『Cisco NX-OS High Availability and Redundancy Command Reference Release 4.0』

『Cisco NX-OS System Management Command Reference Release 4.0』

その他のソフトウェアのマニュアル

『Cisco NX-OS Troubleshooting Guide Release 4.0』

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、マニュアルに関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、および推奨エイリアスや一般的なシスコのマニュアルについては、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

シスコのテクニカル サポート

次の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。

<http://www.cisco.com/en/US/support/index.html>

以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。

- テクニカル サポートを受ける
- ソフトウェアをダウンロードする
- セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける
- ツールおよびリソースへアクセスする
 - Product Alert の受信登録
 - Field Notice の受信登録
 - Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索
- Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する
- トレーニング リソースへアクセスする
- TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する

Japan テクニカル サポート Web サイトでは、Technical Support Web サイト (<http://www.cisco.com/techsupport>) の、利用頻度の高いドキュメントを日本語で提供しています。

Japan テクニカル サポート Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

Service Request ツールの使用

Service Request ツールには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

日本語版の Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac/sr/>

シスコの世界各国の連絡先一覧は、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

その他の情報の入手方法

シスコの製品、サービス、テクノロジー、ネットワークング ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインで入手できます。

- シスコの E メール ニュースレターなどの配信申し込みについては、Cisco Subscription Center にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/offer/subscribe>

- 日本語の月刊 Email ニュースレター「Cisco Customer Bridge」については、下記にアクセスください。

http://www.cisco.com/web/JP/news/cisco_news_letter/ccb/

- シスコ製品に関する変更やアップデートの情報を受信するには、Product Alert Tool にアクセスし、プロファイルを作成して情報の配信を希望する製品を選択してください。Product Alert Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://tools.cisco.com/Support/PAT/do/ViewMyProfiles.do?local=en>

- 『Cisco Product Quick Reference Guide』はリファレンス ツールで、パートナーを通じて販売されている多くのシスコ製品に関する製品概要、主な機能、製品番号、および簡単な技術仕様が記載されています。『Cisco Product Quick Reference Guide』を発注するには、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- ネットワークの運用面の信頼性を向上させることのできる最新の専門的サービス、高度なサービス、リモート サービスに関する情報については、Cisco Services Web サイトを参照してください。Cisco Services Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/services>

- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの書籍、参考資料、マニュアル、ロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- DVD に収録されたシスコの技術マニュアル (Cisco Product Documentation DVD) は、Product Documentation Store で発注できます。Product Documentation Store には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>

- 日本語マニュアルの DVD は、マニュアルセンターから発注できます。マニュアルセンターには下記よりアクセスください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/manual_center/index.shtml

- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を発行しています。Cisco Press には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.ciscopress.com>

- 日本語のシスコプレスの情報は以下にアクセスください。

<http://www.seshop.com/se/ciscopress/default.asp>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/ipj>

- 『What's New in Cisco Product Documentation』は、シスコ製品の最新マニュアルリリースに関する情報を提供するオンライン資料です。毎月更新されるこの資料は、製品カテゴリ別にまとめられているため、目的の製品マニュアルを見つけることができます。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

- シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml